

わたしの夢 | <第4回> | 清田小

田児賢一選手と
同じチームでプレーするのが夢。
中学生になったら、
羽球部で団体メンバーに入る。



DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

三浦 大君 みうら・まさる
清田小6年 千厩町松森

僕は2年生からバドミントンをしています。5年生の時、全国大会に出場しました。練習は厳しいけど、勝った時の達成感がとてもうれしいです。好きな科目は社会。縄文や弥生時代の今にない道具がおもしろいです。バドミントンと長距離走には自信があります。中学生で頑張りたいことは勉強。羽球部に入って団体メンバー入りもしたいです。あこがれのバドミントン選手は田児賢一選手。夢は田児選手と同じN T T東日本でプレーすることです。

編集後記

▼県広報コンクール広報紙の部で市広報12月1日号が2位に選ばれ、県代表として全国広報コンクールへ参加します。取材・編集に協力いただいた全ての皆さんに感謝。これに満足せず精進します。

(伊東吉光)

▼リニューアル後に、たくさんの皆さんからご意見をいただいています。いずれもありがたい貴重な言葉ばかり。今後の誌面づくりに役立てていきたいと思えます。

(畠山 浩)

▼今月は取材で、赤ちゃん、若者、100歳とたくさんの方の笑顔に出会いました。成人式では、素敵な笑顔に乗せられてたくさん撮影したので選ぶのが大変でした。

(小野寺邦毅)

▼静雄さんの目標に向かって努力する姿に感動しました。今年の目標は、感動を与えられるような写真を撮ること。静雄さんを見習い、地道に頑張ります。

(佐藤正利)

▼おばあちゃんたちと会話する時、自然とあまり言葉になりません。不思議。「どっから来たのっしょ」「かだつてみっぺし」と、方言から生まれた各団体の名前に親しみを感じます。

(新田 瞳)